

エゾスカシユリ

Lilium maculatum ssp. dauricum

ユリ科

名前の由来

「エゾ」は北海道に分布することから、「スカシ」は花片の下部が狭くなり各片のあいだにすきまが出来ることからついた。ユリの語源には様々な説があり、茎が細く立ち上がってよく風にゆられるため「ユル」からという説や、花が大きくゆるする「ユスル」ため、花が傾いて「ユルミ(緩)」からという説などがある。漢字名：蝦夷透百合



エゾスカシユリ

形態的特徴

高さ20~80cmになる。茎は稜が目立ち、上方は白い綿毛が密生する。葉は披針形で長さ4~10cmで幅3~10mm、花茎から多数のびる。花はオレンジ色で、内面に黒紫色の斑があり、茎頂に1~3個上向きに咲く。つぼみには白い綿毛が密生する。花被片の下部にすきまがあるのが特徴。

類似種と見分け方

同じオレンジ色の花をつけるユリにオニユリ、クマユリがある。

オニユリ、クマユリとも花は下向きに咲き、花びら(花被片)は外側に反り返る。オニユリは葉のつけ根に濃褐色のムカゴをつけ、クマユリは数枚の葉が輪生するのが特徴。



エゾスカシユリの花。上から見たところ。花びらの間のすきまが名前の由来になっている



エゾスカシユリの葉は細長く、密生する



エゾスカシユリ



類似種のオニユリ。背が高く、花は下向きにつく

生活サイクル

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
開花期			■									
結実期			■									

魚類

底生動物

両生類
爬虫類

トンボ

チョウ

樹木

(在来種) 草花

(外来種) 草花

哺乳類

(水辺) 鳥類

(草原・樹林) 鳥類
ワシ・タカ

生育環境・分布

日当たりのよい草地、海岸の砂地など。

分布：国外分布は、千島・樺太・カムチャツカ・ダフリア
・朝鮮・中国東北部。

国内分布は、北海道。本州北部、青森県のものは自生かど
うか疑わしい。

北海道内分布は、全道。

十勝地方では、日当たりのよい草地、海岸の砂地などで見
られる。堤防などで群生しているのをよく見かける。



エゾスカシユリ。堤防など日当たりの良い草地でよく見られる

生活史

開花時期：6～7月

開花までの年数：不明

寿命：多年草。

他生物との関わり

花には虫が訪れる。

興味深い話

■地下にある鱗茎は白く球形で、苦味が少なく食用にされ
る。花粉を出す「やく」は雨が降ると閉じる。

■斜里海岸のエゾスカシユリの群落が有名。



つぼみを付けたエゾスカシユリ



エゾスカシユリ



エゾスカシユリのつぼみには白い綿毛がついている

配慮事項

生育場所である、海岸の砂丘などが重要である。

魚
類

底生
動物

両生
爬虫
類

トン
ボ

チヨ
ウ

樹
木

(在来種)
草花

(外来種)
草花

哺乳
類

(水辺)
鳥類

(草原・樹林)
ワシ・タカ
鳥類

参考文献

「改訂版 牧野新日本植物圖鑑」牧野富太郎 北隆館 1989

「北海道植物図譜」滝田謙讓 自費出版 2001

「日本の野生植物 草本Ⅰ」佐竹義輔・大井次三郎 他 平凡社
1982

「図説 花と樹の大事典」木村陽二郎・植物文化研究会・雅麗

柏書房 1996

「新版 北海道の花(増補版)」鮫島惇一郎・辻井達一・梅沢俊
北海道大学図書刊行会 1993

「ユリ科 スカシユリ 週間朝日百科 植物の世界109」林一彦
朝日新聞社 1996